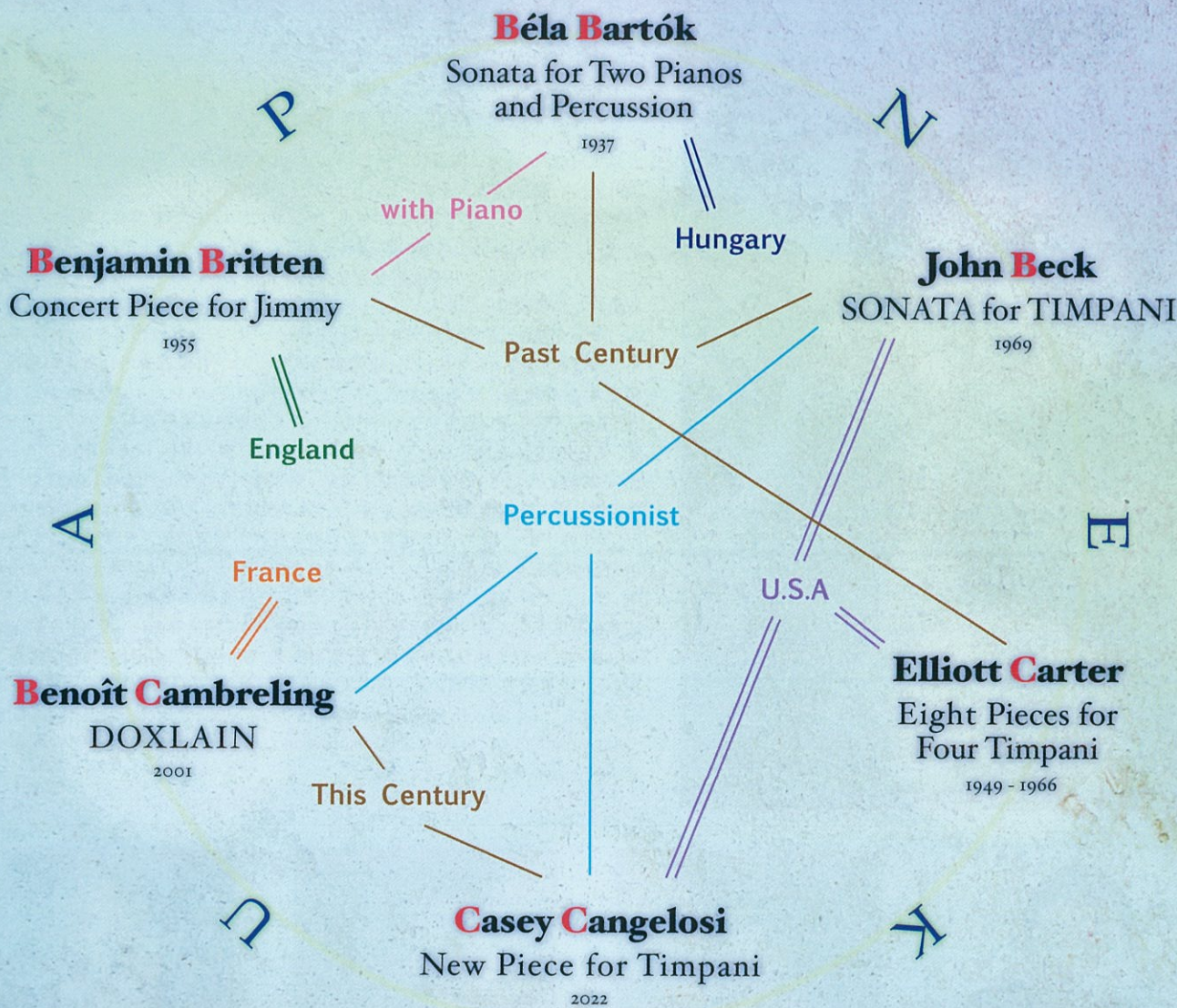




窪田 健志 打楽器リサイタル vol.5

Stroke to 'B' and 'C' - **B** と **C** への一撃 -

ピアノ：野田清隆 居福健太郎 打楽器：竹島悟史(東京のみ) ジョエル ビードリツキー(名古屋のみ)

2022
10 | 14
FRI
東京公演
19:00開演 18:30開場
東京文化会館 小ホール
JR「上野駅」公園口前

2022
11 | 7
MON
名古屋公演
19:00開演 18:30開場
電気文化会館ザ・コンサートホール
地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」より徒歩3分

料金

一般前売3,500円 学生前売1,500円
各当日500円増 ※未就学児の入場はご遠慮願います

お問い合わせ

東京：東京文化会館チケットサービス 03-5685-0385
名古屋：バルドン・フィルステージ 052-485-7491
e-mail: kubota_perc@yahoo.co.jp(窪田)

後援 / 中部打楽器協会

(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

助成 /

NOMURA 野村財団

特別協賛 / 医療法人 英鐘会



窪田 健志

くぼた たけし

打楽器

大阪生まれ。長野県上田高校を経て、東京藝術大学卒業後、同大学院修士課程修了。2002年東京佼成ウインドオーケストラ アジア公演を皮切りに、在学中より様々なオーケストラメンバーとしてシンガポール、チェコ、ドイツなどで演奏。モーニングコンサートにて藝大フィルと共演。第28回日本管打楽器コンクール第2位。PMF、列府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾オペラ公演などに参加。大学院在学時より、五嶋みどり代表NPO法人「ミュージックシェアリング」養護学校特別支援プログラムに参加、国立大学附属特別支援学校2校において打楽器の指導を続けた。2010年(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団ティンパニ・打楽器奏者に就任。現在、首席奏者を務める。音楽之友社「バンドジャーナル」ワンポイントレッスン連載。2013年より3年毎に自主リサイタルを行い、名古屋市民芸術祭ベスト・アーティスト賞、第23回青山音楽賞を受賞。ムジカーザ主催公演、NHK FM「リサイタル・ノヴァ」「鍵盤のつばさ」、宮崎国際音楽祭、東京オペラシティ主催 第180回「B→C」に出演。青山音楽財団の助成を受け、アムステルダム・ワルシャワにて研鑽を積む。2019年のリサイタルでは2度目の名古屋市民芸術祭賞の他、大阪公演は文化庁芸術祭優秀賞を受賞。翌年、ソロCDをオクタヴィア・レコードより発売。「レコード芸術」誌上にて特選盤に選出。2021年「くぼた打楽器四重奏団」京都公演が第30回青山音楽賞を受賞。2022年6月の名古屋フィル定期演奏会にソリストとして出演。これまでに北野圭成、有賀誠門、藤本隆文、Marinus Komstの各氏に師事。高田みどり、菅原淳、百瀬和紀、岡田真理子、Maarten den van Varkの各氏に薫陶を受ける。「くぼた打楽器四重奏団」主宰。「Distance Percussion Duo!!」「ensemble NOVA」「U演奏家協会」各メンバー。菊里高校音楽科、名古屋音楽大学講師。趣味はタップダンスと献血。



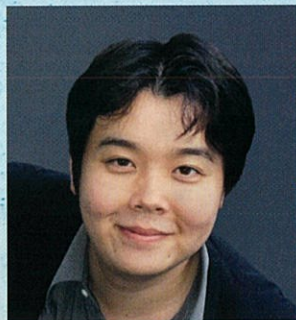
野田 清隆

の だ きよたか

賛助ピアノ

第64回日本音楽コンクール第1位。ブラームスと20世紀作品による一連のリサイタルで東京藝術大学において博士号取得。これまで読売日響、日本フィル、東京交響楽団、藝大フィル、札幌、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市響、大阪響、広島響、九州響でソリストを務めるほか愛知室内管では弾き振りも行った。尾高惇忠《ピアノ協奏曲》初演やブルーーズ作品の日本初演など現代音楽の領域でも活動。

藝大講師を経て、東京学芸大学准教授、東京音大指揮科アドヴァイザーを務める傍ら指揮研修生として田代俊文氏に師事。



居福 健太郎

い ふ く けんたろう

賛助ピアノ

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。これまでに東京交響楽団、日本フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢、仙台フィル、セントラル愛知響、名古屋フィルなどと共演。「題名のない音楽会」等のメディア出演、都民芸術フェスティバルオーケストラシリーズのソリスト出演、東京・春・音楽祭、アフィニス夏の音楽祭等に参加し、国内外で充実した活動を続けるほか、室内楽奏者としても多くの奏者から強い信頼を得ている。

現在、東京藝術大学ピアノ科非常勤講師及び同大学声楽科演奏研究員。



竹島 悟史

東京のみ

たけしま さとし

賛助打楽器

東京藝術大学卒業。第13回日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位。東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」第136回公演ソリスト。N響第1756回定期演奏会に於いて、タン・ドゥン作曲《The Tears of Nature 〜マリimbaとオーケストラのための》の日本初演ソリストを務める。クラシック界の打楽器奏者として常に第一線で活躍し続けながら、作編曲家、ピアニストとしての顔も持ち合わせ、体温の宿る音楽観で絶大な信頼を受ける気鋭の音楽家である。

現在、NHK交響楽団打楽器奏者。



Joel Biedrzycki

名古屋のみ

ジョエル ビードリツキー

賛助打楽器

アメリカ、ニューハンプシャー州出身。ニューハンプシャー大学音楽学部、リン音楽大学院修了。N. スミス(ポートランド交響楽団首席打楽器)E. アトキッツ(元シカゴ交響楽団首席打楽器)の各氏に師事。これまでにタングルウッド音楽祭、PMF音楽祭など多数の音楽祭に参加。2011年から2014年まで兵庫芸術文化センター管弦楽団ティンパニ・打楽器奏者として在籍。2014年(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。現在、首席奏者を務める。2022年6月定期演奏会にてソリストとして共演。名古屋芸術大学非常勤講師。